

平成 30 年度公開農場実習 受講者アンケートまとめ（信州大学農学部）

演習科目 高冷地応用フィールド演習

担当教員 岡部繭子 他

実習日 第1回：平成30年5月12日（土）

第2回：平成30年6月30日（土）～7月1日（日）

第3回：平成30年8月8日（水）～8月10日（金）

受講者数 33名

回答者数 28名

※第1回の参加者数は33名（農学部生31名、他大学生2名）、第2回の参加者数は31名（農学部生31名）、第3回の参加者数は31名（農学部生31名）だった。アンケートは第3回に参加した31名に対して行った。

■高冷地応用フィールド演習について

楽しさ	大変満足	満足	普通	不満	大いに不満
	8	12	7	1	0
有益さ	大変有益	まあまあ	普通	あまり	全く
	11	12	5	0	0

【理由、感想など】

- ・キャベツの栽培における全行程及び出荷等を体験することでより高次の経験を得ることが出来たから。
- ・キャベツの播種から収穫・出荷に至るまでの一連の流れを体験できた。
- ・キャベツの栽培を播種、定植、収穫と一連の流れを体験できたため。このような体験は今後することがほとんどないと考えられるので、非常に貴重な機会となった。
- ・2年の時は収穫作業のみの実習だったが、今回は播種～収穫まで体験できたことで一年の栽培の流れを少し理解できた。
- ・キャベツ栽培における様々な作業を体験できて楽しかった。
- ・今まで栽培とかをやったことがないので自分のためになったと思う。
- ・キャベツが手に届くまでの過程がよく分かったから。
- ・高冷地という珍しい地域で体験できたから。
- ・高冷地で行われている農業を実際に体験することができ、良かった。
- ・高冷地の農業ならではの体験ができた。
- ・高冷地での作業が意外ときつく、大変だった。
- ・涼しい気候だったので、作業しやすかった。マルチはぎがけっこう大変だった。
- ・コースの垣根を越えて仲良く生活できた。普段できないフィールド作業ができて良かった。
- ・他コースの人が多く、いろんなコースの人と話せてよかった。動物コースの人がもっといてほしかったなども少し思った。
- ・仲間たちとの作業・生活はつらくもあったが、充実するものであった。また今回学んだことは

家庭等で役立つ場面もあると思うので大事にしていきたい。

- ・ 普段の大学生活ではできない実習を行うことができたため。
- ・ 2年時の実習と比較して発展性が無い。

■各講義・実習の評価

	大変満足	満足	普通	不満	大いに不満
キャベツ播種	8	13	6	1	0
圃場整備（マルチはり等）	5	11	12	0	0
キャベツの定植	10	14	4	0	0
圃場管理（除草、残根抜き、マルチはぎ等）	6	11	10	0	1
キャベツの収穫、出荷	13	10	5	0	0
集荷場見学	8	13	7	0	0
キャベツの食味比較	9	10	9	0	0
講義	8	10	10	0	0

【理由、感想等】

- ・ 播種は待つ時間が長くていくつだった。
- ・ 播種や定植では、道具による作業効率の向上性に驚いた。
- ・ 最後のマルチはぎが最も大変な作業でした。
- ・ なかなかできない体験が広大な圃場でできて楽しかった。
- ・ キャベツの箱詰めなど去年行ったことを思い出し生かすことができたと感じた。
- ・ 自分たちの収穫したキャベツが集荷場に運ばれるところも見てみたかった。
- ・ 集荷場見学は物の流通がリアルで行われていて見ているのが楽しかった。
- ・ ダンボール（出荷箱）づくりもできて楽しかった。
- ・ キャベツに関わる様々な作業が出来て良かった。
- ・ 成分表にもキャベツの1種類しかのっていないのに、食味比較だけでも8種類あって驚きました。知らなかったことがたくさんあり、たくさん得、食のありがたさを改めて感じました。
- ・ 特に食味比較が面白かったです。
- ・ どの作業も大変だったが、実際に体験することで大変さがよく分かったから。
- ・ 初めての体験ばかりで、農家さんの苦労が実感できた。
- ・ 普通の生活・講義では体験できない物事がもりだくさんであったので、その点は満足。
- ・ 2年時の実習と比較して発展性が無い。

■演習参加後、興味関心が増大した事（複数回答）

高冷地	農業	品種	流通	野菜	家畜	その他	ない
6	9	10	7	5	0	0	3

【理由、感想等】

- ・ 高冷地で栽培されている野菜を伊那でも栽培できないか実践してみたいです。
- ・ 高冷地における農業の戦略の一端を知れて良かった。

- ・農作物は自分たちが不作で周りが豊作だととても悲惨なことになってしまい、逆に周りが不作で自分たちが豊作だと大儲けできると聞いて、農業は非常にギャンブル性が高いと思った。
- ・キャベツに 300 も品種があることを知った。
- ・品種によって様々な違いがあるのに、市場では区別がされていないことが悲しい。機会があれば他のものも食べてみたい。
- ・キャベツの品種の多彩さに驚いたから。
- ・野菜（特にキャベツ）は店では品種が書かれず、食べ比べをして味が違うことを実感でき、面白かったから。
- ・成分表にもキャベツの 1 種類しかのっていないのに、食味比較だけでも 8 種類あって驚きました。知らなかったことがたくさんあり、たくさん得、食のありがたさを改めて感じました。
- ・キャベツが L2、LA など分けられていたが、その後どのようにして値段が決められるのかが見てみたいから。
- ・審査が厳しく、収穫している時に等級が下がってしまったりすることがあり、これを上回る厳しい審査はどのように行われているか気になった。
- ・一から作物を作る事に対しての大変さが分かった。

■演習の内容、指導等についての要望、改善点

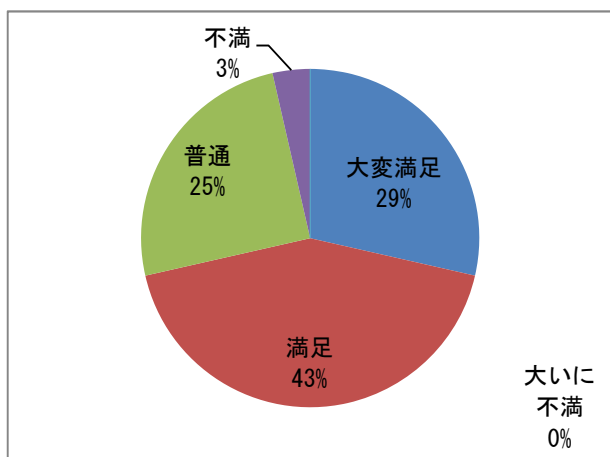
- ・待ち時間が多かった。
- ・除草が大事なのは分かるが、もっとほかのためになることをしたかった。

■フィールド、施設、設備についての要望、改善点

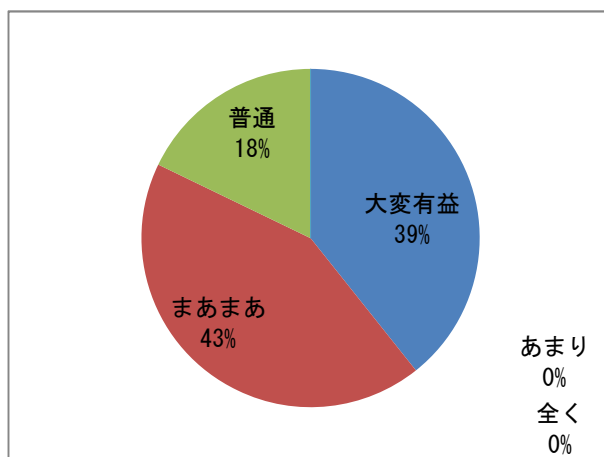
- ・キッチンの排水口にゴミが詰まってしまうと取りにくいので、細かいもの（今回だとみそ）を流す時、排水口ネットのようなものが欲しい。
- ・洗面所にハンドソープが欲しい。
- ・卓球のシェイクハンドが欲しい。バトミントンのシャトルが欲しい。

■高冷地応用フィールド演習について

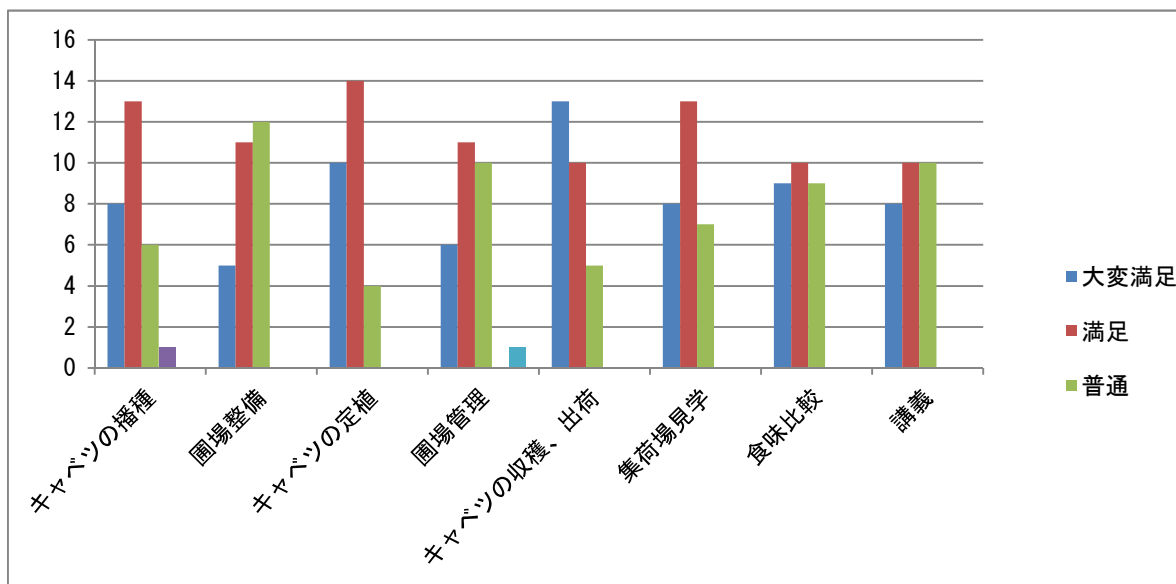
【楽しさ】



【有益さ】



■各講義・実習の評価



■演習参加後、興味関心が増大した事（複数回答）

